

特集！！ハルちゃんが行く！！

～雲の上の図書館～

今回は、平成30年5月にオープンした、梶原町の雲の上の図書館をご紹介します。新国立競技場の設計を手掛けた、隈研吾氏による設計の建築で、建物も設備も楽しい、新たな憩いの場が誕生しました。静かな山の中の街に現れたモダンな図書館というギャップに、とてもわくわくしました。



ハルちゃん

隈研吾氏が設計した、多機能な図書館

梶原町内で6つ目の隈研吾氏による設計の建築物です。この図書館、外観だけでもモダンかつシックで感銘を受けるのですが、中に入るとまた驚きます！梶原町産のスギ材でできた無数の木組みが天井から伸び、今まで見たことのない内装です。設備もまたまた驚きで、畳を使ったイス、アスレチックネット、ボルダリングコーナー、おしゃべりできるコミュニケーションラウンジ、カフェコーナーなどがあり、もはや「静かに読書をする場所」という図書館の枠を越えて、思い思いに過ごせる「憩いの場」という印象を受けました。

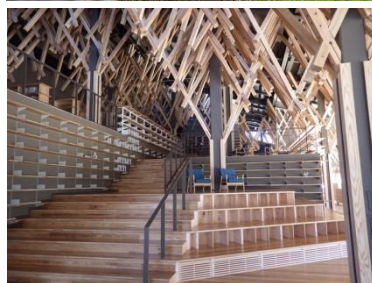
隣にある複合福祉施設「YURURI ゆずはら」（平成30年4月2日掲載記事を参照）と並んで建っており、複合福祉施設の利用者も図書館を利用しやすくなっています。

図書館の利用（閲覧）は地元の方に限らず、観光客の方も可能です。町外の方も、木をふんだんに使った憩いの図書館で、読書を楽しんでみてはいかがでしょうか。



図書館について

- ・地上2階、地下1階建て
- ・構造:鉄骨造(一部木造)
- ・延床面積:1938.31m²
- ・木材使用量:101.046m³
(木組み・フローリング他)



※写真は図書の搬入前に撮影させていただきました